

「葉とらずりんご」の樹体構成法

「葉とらずりんご」の目標とする果実品質を有した果実を80%以上得るための樹体構成は、やや細目(2.5~5cm)の側枝5~6本、骨格となる(直径5cm以上)側枝2~3本を配置し、平均側枝間隔30cm程度とします。

葉とらずりんご栽培に適した樹体構成

側枝の直径	側枝本数	側枝発出部位 (地表からの高さ)	側枝間隔
2.5~5cm (やや細めの側枝)	5~6本	50~250cm	30cm程度
5cm以上 (骨格となる側枝)	2~3本	50~150cm	

受光条件

樹冠下相対日射量	葉面積指数 (LAI)
30%程度	1.5程度

樹齢10~15年生、5×2.5~3mの中密植栽培の場合

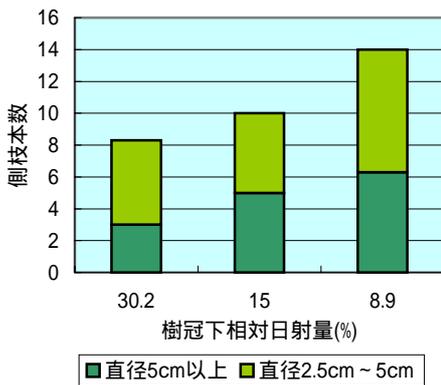


図1 側枝本数

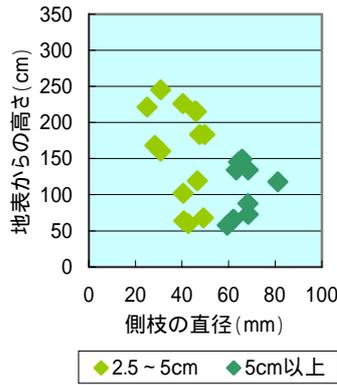


図2 側枝分布

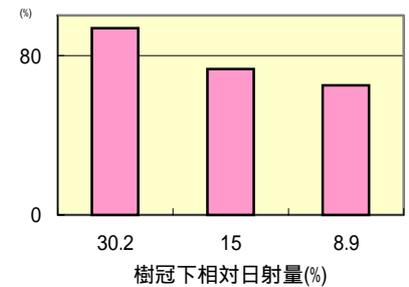


図5 目標の果実品質を満たす割合

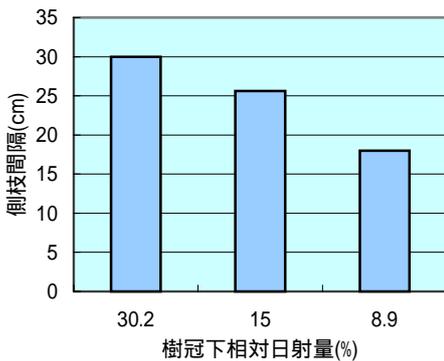


図3 側枝間隔

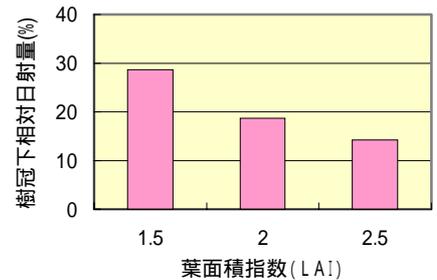


図6 樹冠下相対日射量と葉面積指数の関係

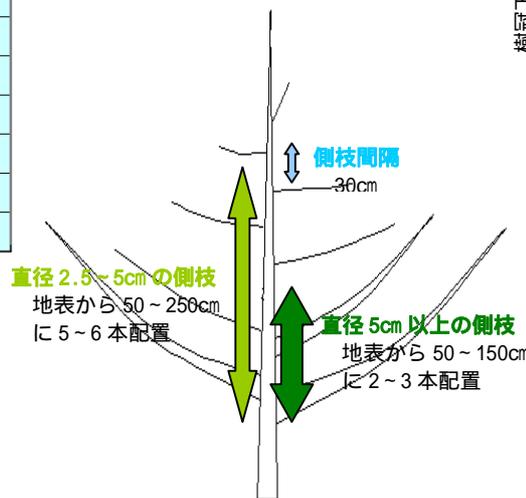


図4 樹体構成モデル

目標とする果実品質

着色の濃さ	ふじ表面色用 カラーチャート指数 4以上
着色の均一性	葉陰の面積が 50%以下
糖度	14%以上